

科目名	人間と科学 I (歴史学)	英語科目名	Cultural Science (Historical Studies)
開講年度・学期	平成28年度 前期	対象学科・専攻・学年	全学科 5年
授業形態	講義	必修 or 選択	選択
単位数	1 単位	単位種類	履修単位
担当教員	酒入陽子	居室 (もしくは所属)	管理棟3階
電話	内線 173	E-mail	ysakairi@小山高専ドメイン名
授業の到達目標	授業の到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標 (JABEE)	JABEE 基準
1. 日本の現代社会と前近代社会とを比較して、その違いや特色を説明できる。	①	D	a b
2. 過去の歴史を学ぶことにより、今日の国際的な社会のしくみや、国家間の、結びつきや対立を、歴史的な視点から説明できる。	①	D	a b
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
到達目標 1-2 : 定期試験において 60%以上の得点により達成とする 到達目標 1-2 ; 中間試験の成績、課題に対する提出物、授業での発言や報告内容で評価する			
評価方法			
次の2項目に対する加重平均により評価する。 1. 定期試験の成績 : 70% 2. 提出物の成績、中間試験の成績、授業中の発言や報告における内容 : 30%			
授業内容			
ドキュメンタリーなどの映像資料を見ながら、現代社会の諸問題について考えていく。			
1. イントロダクション ~第二次世界大戦後の世界~ アジア・アフリカの戦後 —民族独立と大国の理論— 冷戦 Cold War —恐怖のなかの平和—			
2. ベトナム戦争 —アメリカは誰と戦ったのか?—			
3. カンボジア紛争 —ポルポト政権—			
4. パレスチナ問題 —中東問題 (1) —			
5. 冷戦終結、その後の新たな戦争 —ユーゴスラビア紛争—			
6. ルワンダ内戦 —国連の役割と限界—			
7. 増え続ける難民 —終わらぬ紛争 中東問題 (2) — ※上記の内容を適宜取り上げていく予定。 ※授業内容に変更が必要となった場合は、受講者に対して速やかに通知の上これを行なう			
キーワード	映像 冷戦 紛争 難民		
教科書	特に指定しない 授業中にプリントを配布		
参考書	必要に応じて指示する		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	地理、政治経済、歴史、倫理社会、哲学、歴史学		
現学年の関連科目	人間と科学 II		
次年度以降の関連科目			
連絡事項			
1. 講義の中で、毎時間、授業内容に関連したリアクションペーパー (提出物) の提出を求めます。 積極的に授業に参加するように。 2. 定期試験では、各自の研究に基づいた小論文を課します。			
シラバス作成年月日	平成28年2月29日作成、		